



太良のとき

Time in TARA

佐賀県太良町
町勢要覧

太良のとき

町勢要覧 2019

佐賀県太良町



町章

タラの「タ」を図案化したもので、愛郷心と協調性のなかで雄大な希望と理想を求め、たゆまぬ努力による発展をあらわしたものの。



シンボルマーク

豊かな自然に恵まれ長い歴史を築き上げて来た太良町のイメージと有明海特有の潮の干満(月の引力が見える町)のイメージを重ねあわせて表現されたシンボルマークです。



ガネッタ

太良町の名物、竹崎カニをモチーフにした元気な男の子。



つきみん

太良町のシンボルマークをモチーフにみかんの花冠を飾った女の子。



太良町 町勢要覧

発行 太良町役場 企画商工課
発行日 令和元年12月

〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1-6
電話:0954-67-0311

編集・制作 / 株式会社ぎょうせい

地ノ勢ハ少クアレドモ、
食物ハ豊ニ足ヘリ。
豊足ノ村ト謂フベシ

「肥前風土記」より



「かがやく大地」

多良岳山系から湧き出た水が
肥沃な大地をつくり、
夢を抱いた人々が集い、
かがやくまちが生まれた。



「幽玄なる有明」

6mもの干満の差が生んだ
広大な干潟は恵みの海。
潮の満ち引きが最大になる満月の夜、
月の引力がこの目に見える。



太良のとき

Time in TARA

太良町町勢要覧 | CONTENTS

ごあいさつ	
多良岳山系のとき	
・歴史と自然の回廊	01-02
太良を体験しよう	
・五感を使って楽しもう！	03-04
太良町の定住促進	
・子育てなら太良町	05-06
・夢を描けるまち太良	07-08
太良の未来 農業	
・先進的な農業の試み	09-10
太良の未来 漁業	
・竹崎港発、新しい太良の味覚	11-12
太良の恵み	
・大地の贈り物	13-14
・有明海の贈り物	15-16
太良の宴	
・伝統の祭り	17-18
太良の賑わい	
・町内のイベント	19-20
多良海道を歩こう	
・多良海道を歩こう	21-22
太良の歴史	
・史跡と文化遺産	23-24
資料編	25-28
太良町のあゆみ 合併から65年	29-39



太良町長
永淵 孝幸

ごあいさつ

私たちのふるさと「太良町」は緑豊かな多良岳山系と豊饒の海有明海に抱かれ、「とき」の流れさえも穏やかにやさしく過ぎていく美しい自然豊かな町です。古くから「食物ハ豊ニ足ヘリ、豊足ノ村…」と言われたように、山海の幸と風光明媚な大地が私たちを育ててくれました。こうしたふるさとに町民の皆さんとともに暮らせる幸せをかみしめながら、日々町政に邁進しているところです。

近年、我が国を取りまく社会・経済情勢は非常に厳しく、本町もまた少子・高齢化の問題等課題が山積しております。一方で、地域活力を高めるために、町内産業の後継者育成、子育て支援策による若い世代を中心とした本町への移住・定住促進、高齢者福祉等にもより一層取り組んでいく所存です。

温暖な気候が育む穏やかな町民の暮らしを守り、地域の特性と、資源を生かした将来性のあるまちづくりを皆さんとともに今後も目指してまいります。

この度の太良町町勢要覧は、今を生きる皆さんと、この地を築いてきた先人の「とき」を感じ、希望に満ちた将来へとつないでいけるよう心を一つに進んでまいりたい、との思いから刊行いたしました。それぞれの「とき」に想いを馳せ、大切なふるさとへの発展と、本町へのご理解をいただきましたら幸いです。



歴史と自然の回廊

多良岳山系には初心者から本格派まで、さまざまな登山コースがあり、豊かな自然や信仰の歴史、変化に富んだ複雑な地形など、どの季節に登っても、新しい発見があります。



貴重な植物や文化遺産の宝庫

多良岳山系は、佐賀県と長崎県にまたがる旧火山群の総称です。標高1076mで佐賀県最高峰の経ヶ岳や植物の観賞地として知られる多良岳など、一千メートル級の山々が連なります。自然の宝庫で、アカガシやヤマシキミの自然林があり、オオキツネノカミソリ、ツクシシヤクナゲ、チャルメルソウなど貴重な植物が多く自生し、オオアカゲラ、ブチサンショウウオなど希少動物も確認されています。多良岳山系はまた、信仰の山としても知られています。多良岳の山頂には太良嶽神社の上宮が、標高850mの地点には修験道の道場だった金泉寺（諫早市）があり、古くから山岳修験が盛んでした。役の行者座像や六体地藏菩薩像、梵字岩など、信仰の歴史を伝える文化遺産に、修験者が山を駆け上った当時の面影をしのぶことができます。



中山キャンプ場

多良岳の中腹にあるキャンプ場。電源付のバンガローもあり登山の基地として最適です。例年7月中旬から9月下旬まで開設しています。（9月は土・日・祝のみ）

太良町大字多良8379番地33
0954-6710220
（太良町社会教育施設等管理事務所）



坐禅岩

山岳修験の修行僧が坐禅を組んで修行していたとされる場所。素晴らしい眺望が楽しめます。

太良嶽神社上宮

神域とされる多良岳の山頂に奉祀されています。太良嶽三柱大神が奉られており、境内の石畳は江戸時代、石祠は大正12年に造立されました。



梵字岩

太良嶽神社の参道や岩壁など、多良岳のさまざまな場所に梵字を刻まれた岩があります。



ひぐらしの滝

景色に見とれて日が暮れることからこの名がついています。「ひぐらしの滝」は3つの滝が集まる絶景スポットです。



ツクシシヤクナゲ

日本産のシヤクナゲでは最も美しいとされる品種。多良岳山系には9ヶ所の群生地があり、国の天然記念物に指定されています。4月下旬から5月上旬が見頃です。



オオキツネノカミソリ

キツネノカミソリの変種で、花卉が大きく9cm程にもなります。多良岳山系には数百万本が群生していると推測され、日本一の群生地とも言われています。7月中旬から8月上旬が見頃です。

INTERVIEW



池田伸也さん
山のガイド

修行僧になったつもりで登っています。

子どもたちと一緒に楽しめることがしなくて山登りを始めたのですが、今ではすっかり多良岳山系の素晴らしさに魅せられてしまい、休みがあれば登っています。登山の醍醐味は達成感。太良嶽神社上宮に向かう石段からは、いつも修行僧になったつもりで気合を入れて登っています。多良岳山系の魅力は自然と歴史。山の先輩たちに教えてもらいながら登るとそのたびに発見があり、自分がガイドをする時はそのことをクイズ形式で分かりやすく伝えるようにしています。春はシヤクナゲ、夏はオオキツネノカミソリ、秋は紅葉と年中見どころがあるので、ぜひトレッキングを楽しんでいただきたいですね。冬も積雪が少ないので登りやすいです。いろんなコースが楽しめますが、初めての方には中山キャンプ場からスタートして、多良川源流などを通して金泉寺で休憩し、役の行者座像を越えて多良岳山頂にある太良嶽神社の上宮を目指すコースが見どころが多くお勧めです。

五感を使って楽しもう！

海と山が近く、自然に恵まれた太良町には、
いろんな世代の人たちが楽しめる遊び場所があります。
五感をいっぱいに使って満喫しましょう。



たら竹崎温泉

宿泊施設の多くが有明海に面して立ち並ぶ温泉郷。泉質はどの施設も「美肌の湯」とされるナトリウム炭酸水素塩泉ですが、まるで海の中に浸かっているような露天風呂など、個性的な湯船を備えており、全施設を制覇したくなります。シーズンには竹崎カニの料理を満喫できます。



有明海で遊ぼう

有明海は一番深いところで約20mという浅い海で、干潟の面積は日本一。ムツゴロウやワラスボなど、ユニークな生き物が暮らしています。月の引力と地形によって生まれる有明海の干満の差も日本一。最大で6mにもなります。太良町が「月の引力が見える町」と言われるのはそのためです。

潮の満ち引きのため、遊べる時間が制限されていますが、穏やかな太良町の有明海はマリンスポーツの好スポット。毎年7月中旬には、B&G海洋センター「マリンスポーツフェスティバル」が行われ、インストラクターの指導のもと、ヨットやカヌー、バナボートやウェイクボード、水上バイクなどのアクティビティを満喫することができます。



白浜海水浴場

有明海で初めて設けられた人工海水浴場。特産の竹崎カニをイメージしたつくりになっています。潮の満ち引きにより遊泳時間が制限されることもユニーク。毎年7月中旬から8月末までオープンします。



B & G海洋センター（艇庫）

有明海で唯一の本格的なマリンスポーツの施設。毎年7月上旬から9月中旬まで一般開放され、家族、学校、職場、グループで気軽に利用できます。



竹崎城址展望台公園

有明海に突き出た竹崎島の高台にある展望台です。南北朝時代の竹崎城をイメージして建てられたもので、有明海をのぞむ360度の大パノラマを楽しめます。敷地内には草スキー場もあり、家族で楽しめます。



あいあい公園

総面積1haの園内には、多良岳に生育する樹木を植栽した芝生広場や用水路を利用した水車小屋などがあり、多良川で水遊びも楽しめます。地元イベントなども開催されます。



子育てなら太良町

太良町では子育て支援に力を入れ、結婚から出産、育児まで、きめ細かくサポート。未来の太良町を担う若い世代を応援しています。



ぽっかぽか広場



しおさい館

太良町総合福祉保健センター「しおさい館」では、就学前の親子が集まって一緒に遊び、子育てに関する意見を交換できる「ぽっかぽか広場」を第1、4木曜日に開催しています。子育て経験者や保育士経験者のサポーターさんも常駐しており、子育てに関する相談にも行っていただけます。「バスハイク」「クリスマス会」等のイベントも行われています。

太良町大字多良1番地17
0954-6710410
(太良町社会福祉協議会)



パレットたら

JR多良駅のすぐそばに建つ定住促進住宅。5階建て、40世帯が入居可能。間取りは全室3LDK。居住するご家族が交流できるよう、敷地内に小さな芝生広場を設けています。



母子手帳アプリたらっ子メモリー

妊娠から出産、育児までをフルサポートする安心の子育て支援アプリ。子どもの成長記録と一緒に、楽しみながら日々の思い出も記録できます。予防接種の管理ができるほか、接種日のお知らせ機能もあります。また、乳幼児健診日や地域のイベント情報も配信しています。

明るく活気のあるまちづくり

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という総合戦略の基本目標のもと、太良町では明るく活気のあるまちづくりを目指しています。特に力を入れているのが子育て支援。結婚や出産祝金から、医療費助成、給食費の無料化、卒業祝金まで、一貫してきめ細かなサポートを続けています。また、太良町で新たに生活をスタートする方のための就労支援や農業・漁業の研修助成金なども充実しています。

子育てを頑張っておられる方、これから結婚し未来の太良町を担っていく若い世代、UIJTAINとして太良町暮らしを始める方、みんなにとってより良い子育て、就労、生活環境を整備し、「子育てなら太良町」と感じてもらえるまちづくりを進めています。



INTERVIEW インタビュー



川口円加さん

ママたちが自分の特技を持って集える場所をつくりたい

平成30年4月、夫と娘と武雄市からパレットたらに引っ越してきました。家族3人には十分な広さで、収納スペースもたくさん、暮らしやすいです。役場の方に誘われて、しおさい館の「ぽっかぽか広場」や大浦ふたばこども園の「カンガルールーム」に通ううちにママ友がたくさんできました。子どもと一緒に気軽に行けて、息抜きができ、仲間をつくれて、何かしらプラスな気分になって家庭に帰ってこられる場所があるのはうれしいですね。

私は色彩心理学を切り口に、夢を持つ生き方を提案するキレイデザイン学のインストラクター資格を持っており、ワークショップなども行なっています。お母さんが何か仕事をしようとしても、お子さんを保育園などに入れないと難しいですよね。お母さんが子どもを連れて集まって、そこで講座を開いたり、お茶やランチを提供したり、雑貨などを販売したりと、思い思いに新しい働き方ができるような場所を太良町に作る事ができたらと思っています。

夢を描けるまち太良

暮らしを始めるのに必要な設備や制度が整い、
人との温かな交流があるまち太良。
ここからあなたの夢をスタートさせましょう。



INTERVIEW インタビュー



藤川祐亮さん

太良で農業のイメージを 変えていきたいです

2019年に福岡市から太良に移住し、農業での起業に向けてアスパラ農家で研修を受けています。子どもの頃から農業に関心があり、大学時代には各地の生産現場を回りました。太良町を選んだのは、異業種交流会で訪れ、先に移住した先輩たちの話を聞き、農業を始めるのはとても良い環境だと思ったからです。移住を決めた時、妻は妊娠しており、こちらに来てから二男も生まれました。見知らぬ土地での出産に不安もありましたが、近所の方たちに良くしてもらい、すぐに地域にとけこむことができました。長男は気管支が弱かったのですが、澄んだ空気の中、毎日元気に遊んでいます。

太良町は子育て支援のサービスが驚くほど手厚く、誕生祝金やチャイルドシート購入補助金も利用できました。子どもが18歳になるまで医療費の助成があるのもありがたいです。農業を始めるにあたって、町や県などの補助金も活用できます。私の目標は、農業のイメージを変えること。野菜のブランド化や六次産業化、ネット通販など、いろんなことに挑戦していきたいです。

太良暮らしへの ステップ

住まい探し

空き家情報バンク制度で、空き家を購入または賃貸借する場合、改修等に要する経費を補助します。

出産

誕生祝金として第1子に10万円、第2子以降は第1子の金額に出生児数が増えるごとに5万円を増額して支給します。

育児

0歳から15歳到達の年度末まで児童手当を支給します。18歳到達の年度末まで医療費の助成もあります。



就学

小学校の入学時と中学校の卒業時に3万円の祝金を支給しています。小中学校の給食費は無料。高校、大学入学に際して就学資金貸付制度もあります。

妊娠

母子健康手帳を交付し、健康相談や保健指導を随時実施します。

結婚

結婚祝金として夫婦1組につき20万円、町内で結婚披露宴を開く場合は人数に応じてさらに加算して支給します。



病院

0歳から18歳になる年度末まで医療費の助成を行っています。町内には町立太良病院（内科・小児科・外科・整形外科・耳鼻咽喉科）のほか、2つの医院があります。小児の時間外診療は、鹿島・武雄地区管内のいずれかの医療機関が対応しています。



保育園・学校

町内には3つの保育園と1つの認定こども園があり、日中家庭で保育を受けることができない乳幼児に保育サービスを実施しています。小学校、中学校は多良、大浦の2校があり、放課後児童教室などもあります。県立太良高校は、単位制、2学期制などの新しい試みを進めています。



各種施設

太良町には、テニスコートや野球場、屋内プール、B & G 海洋センター体育館・艇庫などスポーツ施設が揃っています。大橋記念図書館は絵本を多く収蔵し、子ども向けお話し会などのイベントも開いています。自然休養村管理センターや中央公民館など、研修やワークショップなど気軽に利用できる施設もあります。



交通アクセス

JR長崎本線の多良駅と肥前大浦駅があります。最寄り空港は九州佐賀国際空港で、直通リムジンタクシーが利用できます（要予約）。車の場合、長崎自動車道・武雄北方インターで降り、国道207号線を南へ約1時間です。

先進的な農業の試み

太良町の農業は、常に進化を続けています。最新の設備やアイデアを導入し、時代にマッチした農産加工品も続々と開発。その良さを全国へ世界へとアピールする活動に取り組んでいます。



詩織さん、空くん、蓮くん、陽くん

徹底した温度管理で栽培

豊かな水源や温暖な環境に恵まれた太良町は、花き栽培も盛んです。特に、生育に適した環境づくりと徹底した温度管理によって生まれたバラは、関東や関西にも出荷されて、ブライダルや贈答用に人気を集めています。近年は全国的な品評会でも入選を重ねており、その品質の高さは折り紙つきです。



日本ばら切花品評会で 2年連続入賞

バラの栽培で大切なのは温度の管理です。夏は気化熱を使ってファンを動かし、ハウス内の温度を下げて花の夏バテを防ぎ、品質をアップさせます。一方、冬は暖房で最低室温を15℃以上に保ち、太陽光に近い波長のLEDを当てて収量アップを図っています。



田中慎一さん
バラ農家

良いバラの基準は、色、形、香り、プラスチックに強いこと。平成30年には「パフェーパープル」で「日本ばら切花品評会」の7位、平成31年には「アヴニール+」で9位に入賞することができました。私は高校卒業後、東京の花市場や花屋で勤め、妻ともそこで知り合いました。販売の現場にいたことは、市場のニーズを把握するのに役立っています。これから、より良いバラを作っていきたいですね。



農業・漁業の後継者を支援

太良町親元就農支援事業給付金など、太良町では、農業・漁業の後継者として就業する方に対し支援給付金を支給しています。また、佐賀県や国にも農林漁業経営をバックアップするためのさまざまな制度資金があるので、それらを組み合わせることでスムーズに太良町での起業をスタートすることが可能です。

都市部の学生とコラボ

柑橘農家の若手有志が「太良シトラス会」を結成し、「たらかん」の美味しさを全国にアピールする「たらかん活性化プロジェクト」をスタート。若いアイデアを取り入れ、都市部との交流を広げるため、東京大学の学生を中心とする「東大みかん愛好会」、お茶の水女子大学の「Ochhas」、及び佐賀県立有田工業高校のデザイン科の生徒とコラボ。みかんをアピールするデザイン、スイーツをはじめ加工品の開発などに取り組んでいます。



INTERVIEW インタビュー



針茂拓郎さん
みかん農家

たらかんを 全国ブランドに！

みかんシーズンの秋から冬以外、たつぷり木に栄養を吸収させて味を良くしたり、害虫の防除や消毒をしたりと年中忙しいです。一番力を入れているのは土壌作りで、自家製の堆肥を使い、みかんに最適な環境を与えられるよう知恵を絞っています。頑張れば頑張るだけ、美味しいみかんが育つのでやりがいは大きく、天職だと思います。収穫ロボットやドローンなど、今後は新技術にも挑戦したいですね。仲間たちと「太良シトラス会」を結成し、学生たちとコラボして、たらかんのブランディングにも取り組んでいます。また、学生たちを招いてファームステイを企画したり、私たちが首都圏に出かけて販売会を開いたりしており、こうした交流を通して太良町の関係人口を増やすことができましたら嬉しいですね。



竹崎港発、新しい太良の味覚

カニやカキ、タイラギ、クルマエビなど、海産物に恵まれ、潜水漁法や待ち網漁法など、独自の漁法を発展させてきた太良町。今、投網で獲るコハダが新しい太良ブランドとして注目されています。



INTERVIEW
インタビュー



寺田 豊さん
コハダ漁師

長年の経験が必要なコハダの投網漁

有明海の水温が上がってくる5月から10月くらいがコハダ漁の最盛期。海面近くに浮かんできたコハダを投網で獲ります。傷が付きやすいので、刺し網はできません。音に敏感なので、コハダの群れが見えると船のエンジンを切り、櫓を漕いで近づいていって網を投げます。その間にも魚は動くし、潮の流れも変わるので、それを見極めてできるだけ遠くに網を投げなければいけません。その技術を習得するには長年の経験が必要です。今、竹崎で投網をしている漁家は20軒くらいですね。

有明海のコハダは他の地域のもの比べて脂がよく乗っていますが、特に6月から8月は豊富なプランクトンを食べて体がピンク色で大きくなり、取り分け美味しいですよ。今まで地元ではあまり食べられていなかったのですが、これからは佐賀の新しい特産品としてどんどんアピールしていきたいですね。



豊洲市場の人気者

コハダは江戸前寿司を代表するネタとされますが、実は豊洲市場のコハダ取扱量の約4割は竹崎港で水揚げされた太良町産のもので、コハダは新鮮さが一番。明け方漁に出て、朝水揚げしたコハダはすばやく水詰めされ、昼には福岡空港からの航空便に乗せ、夕方には豊洲市場に着きます。

ほとんどが県外に出されて、地元ではあまり食べられていなかったコハダですが、近年は太良町の新しい特産品にしようと、メニューの開発や加工品の製造が進められています。



コハダの
酢漬け

酒の肴にも最適な、コハダの酢漬け。道の駅太良の「たらふく館」で取り扱っています。

INTERVIEW
インタビュー



船口直子さん
竹崎コハダ女子会会長

コハダで地域を盛り上げたい

「竹崎コハダ女子会」は竹崎地区の漁師の奥さんが中心となり、コハダの良さをアピールするために結成しました。私は太良出身ではないので、特に強く思うのですが、コハダはとても美味しく、刺身は絶品です。この味をもっと知ってもらいたいと思いい、みんなで集まって、天ぷらや押し寿司、酢漬け、みりん干しなど、コハダを使ったレシピを考案し、PR活動を続けています。年に一度ほど、新鮮なコハダ料理を提供する「コハダ食堂」を開いているのですが、毎回好評で完売しています。今後は、コハダ食堂の回数を増やすなどして、いつ来てもコハダが食べられる場所を太良町に作っていきたくです。コハダをカニやカキに次ぐ太良町の特産品として、地域を盛り上げていきたいですね。



大地の贈り物

太良町は野菜や果物など農産物の宝庫。太良町の玄関口、道の駅太良の「たらふく館」を訪れると、四季を通して旬の味覚をたっぷり味わうことができます。



INTERVIEW
インタビュー



池田幸人さん
「たらふく館」館長

新鮮で安心・安全な太良の幸をお届けします

「たらふく館」は、太良町でとれた山海の幸を取り揃えた特産品販売所です。県内はもちろん、福岡や長崎、熊本からも多くのお客様が立ち寄られ、旅行専門雑誌の「行って良かった九州の道の駅ランキング」でも常にBEST10に入る評価をいただいています。

当館の自慢は品揃えの多さと新鮮さ。特にみかんは年間約80種類も入荷していて、シーズンに常時10数種類を用意しています。一日に何度も入荷があるので、商品の新鮮さも抜群です。毎年新顔も加わっており、それぞれのみかんを試食して自分にあった味や食感のものを見つけてください。

有明海の海の幸も、もちろん豊富に取り揃えています。特に冬場の竹崎カニと竹崎カキは定番で、お土産にも買った方が気になって自ら買いに来られたりして、どんどんファンの輪が広がっています。

普賢岳から阿蘇山系まで一望できる眺望も素晴らしく、イベントも定期的に行っているの、ぜひお越しください。

「クレメンティンパイ」
「クレメンティンまんじゅう」
スペイン原産で希少価値の高いみかん、クレメンティンの甘味や風味を活かしたスイーツ。ここでしか買えないオリジナル商品です。



たらふく館
オリジナル

ブランド豚

太良町の豊かな環境の中、すくすくと育ったブランド豚肉が近年、全国から注目を集めています。また、太良町産の絶品豚肉を使ったハムやソーセージなどの加工品も美味で、お土産にも最適です。



たらふく丼

豚肉を美味しく調理し、海苔など、さまざまな太良町特産品を加えて作ったボリュームのある丼ものが「たらふく丼」。町内の飲食店などがさまざまな工夫を凝らして提供しており、食べ比べを楽しむことができます。



わさび

太良町には九州最大級の水耕栽培のわさび畑があり、観光農園として見学することもできます。生わさびのほか、わさびドレッシングなどの加工品があり、ドレッシングはちょっと加えるだけで美味しさの幅が広がると好評です。



ジャム

太良町産の柑橘類を中心に、ブルーベリーや梅、イチゴなどをぜひたくに使った手作りのジャムやマーマレードも絶品です。



1年を通して新鮮な農産物

米やみかん、玉ねぎなど、温暖な気候と多良岳山系の豊かな自然と清らかな水により、1年を通して様々な野菜・果物が生産されています。

有明海の贈り物

有明海は、干満の差が豊富な栄養分をもたらす豊饒の海。名物の竹崎カニや竹崎カキをはじめ、四季を通して多彩な海の幸が獲れます。



竹崎カニ

全国に知られる太良町の特産物。菱型の甲羅を持つワタリガニの中でも、有明海の恵みを受けてすくすくと育った、太良町竹崎地区近海で獲れるものだけが「竹崎カニ」と呼ばれて珍重されています。夏場から秋口にかけては雄ガニが、産卵を控えた冬場は雌が美味しくなるので、ほぼ1年を通して堪能することができ、夏場の雄はカニミノが、冬場の雌は内子（卵）が絶品とされます。



竹崎カキ

太良町の冬を代表する味覚です。有明海は塩分濃度が低く、カキの餌となるプランクトンが豊富なため、身に十分なグリコーゲンが蓄積し、焼いた時に身が縮みにくく、カキ本来の味を濃く感じられることが特徴。口に含んだ途端、甘みと旨味が口の中いっぱいに広がります。毎年10月から3月頃には国道207号沿いにカキ小屋が立ち並び、「たらカキ焼海道」と呼ばれます。



シヤロ



芝エビ



クチゾコ（舌平目）



海苔

有明海の栄養分をふんだんに含んで育った太良町海苔は、ビタミンとミネラルに富んだ滋味豊かな健康食品として高く評価されています。黒くつややかな色と、薫り立つ磯の香が特徴。定番の板海苔のほか、生海苔をそのままの形で乾燥させた風味の良い「バラ干し海苔」も人気です。



子どもの頃から父の背中を見てきて、あんな風になりたいなと思って20歳で漁業を始め、9年になります。初夏から秋まではコハダを、冬はシバエビを主に獲っています。今は漁船の操縦が主な仕事で、少しずつ投網に挑戦しています。地元にはこれから投網をやっという若い人たちもおり、いろいろな交流がありますね。父や先輩方は、風がめっちゃくちゃ強くて、波がうねり立っているような時でも、上手に投網を操っています。私も早く風や波に左右されず、完璧に投網を打てるよう頑張りたいです。カニもカキもコハダも、太良町の海産物はどれも自慢できるものなので、ぜひ皆さんに味わっていただきたいですね。



INTERVIEW
インタビュー

若い世代で太良町の漁業を守っていきます

田崎亮介さん
漁師

伝統の祭り

太良町には他に例を見ない独自の祭りや中世までさかのぼる伝統を誇る祭りがあり、地域の人たちの努力で未来へと継承されています。



竹崎観世音寺修正会鬼祭 (国指定重要無形民俗文化財)

新春の訪れを告げる、太良町を代表する伝統の祭り。檜の棒を束ねて境内に打ち付ける「大聖棒打ち切り」のほか、白いお面を被った2人の子どもが悪鬼を調伏する「童子舞」(佐賀県重要無形文化財)が演じられます。以前は鬼箱を争って、ふんどし姿の若者がぶつかり合う別名「裸祭り」が行われていました。



円座祭

上半身裸で煤をぬった男の子が、ワラで編んだ円座を投げ上げて長い竹槍で受け止め、それを何回も繰り返す祭り。年の初めに、その年の吉凶を占うとともに、幸運を射止めようという願いが込められています。



御手水の的射り

鬼を退治し、家内安全や五穀豊穡を祈る行事。青竹とかずらで作った弓に青竹の矢をつがえ、「東西南北」や「鬼」と書かれた的を射ます。「産」に通じる縁起をかついで33,333本の矢を射ることになっています。



白狐踊り

明治初年、道越地区に祖先の入植を指導し、人々を救った岸川松南氏に感謝する「平浜神社感謝祭」の中で舞われる雨乞いの踊り。白狐に扮し、扇子と鼓を使って踊ります。



太良嶽神社秋祭り

五穀豊穡と家内安全を感謝し、浮立の舞や大名行列を模した踊りなどが奉納される秋祭り。太良嶽神社は多良岳の太良嶽神社と川上神社、荒穂神社を合祀しているため氏子が多く、太良町内最大規模の伝統的祭りとなっています。浮立は、戦国時代に龍造寺隆信と大友宗麟が戦った時、龍造寺勢だった鍋島直茂の一族が鬼の面とシャクナゲを被り、陣太鼓とともにときの声を上げて夜襲をかけ、大勝した折の戦勝祝いが始まりとされます。面をつけた一糸乱れぬ勇壮な舞が見どころです。荒穂神社のご祭神はとりわけ浮立が好きで、奉納をやめたら社殿が怒りで振動したと伝えられます。太良嶽神社以外にも、町内各地で秋祭りが開かれます。



中世からの伝統を 守り伝えていきたい

インタビュー



澤 光樹さん 竹崎観世音寺

修正会鬼祭の童子舞は、男面、女面をつけた2人の子どもが牛王杖や太刀を持って悪鬼を調伏しようとする舞です。反閉という摺り足の動きやもみを撒く所作などに、中世にさかのぼる古い芸能の形が残されているとされ、佐賀県重要無形文化財に指定されています。毎年、竹崎地区の子どもたちから2人を選び、練習をした後、本番を迎えます。普段の生活にはない動きがあり、左右で所作が違うので難しいことも多いようです。今後も地元の子どもたちや親御さんに協力してもらい、できるだけ今ある形を伝えていけたらと思っています。当寺院はもともと、有明海を渡っていく船の安全な航海や豊漁を祈願する寺でした。時代は変わっても、さまざまな方たちの祈願にお応えできると願っています。

町内のイベント

竹崎城址展望台をバックに、夜空を彩る花火が有明海を鮮やかに染める。



太良町納涼夏まつり 7月下旬 道越環境広場

太良町の夏の夜を彩るイベント。町内の仲間たちがグループとなって盆踊りの輪で盛り上がり、ライブショーなども同時開催されます。竹崎城址展望台をバックに有明海の海面を色とりどりに染める花火大会も必見。会場の間近で打ち上げられるので迫力満点です。



11月下旬 太良町野外音楽堂

十夜市 太良町全員祭り

もともと新米ができる頃、誓願寺前にさまざまな市を立て、「十夜飴」などを売っていた行事でしたが、今は町全体の祭りとして開催されます。昼からたくさんのお店が並び、夜には竹灯籠も点灯され幻想的な竹灯りが楽しめます。



千乃灯籠まつり

約300年前に建立されたという海中鳥居を舞台とした夏のお祭り。子どもたちが夢を描いた灯籠や俳句灯籠など、約千基の灯籠に灯りが点され、辺りは神秘的な雰囲気になります。フィナーレにはたくさんの花火も打ち上げられます。



1月上旬 多良小学校スタート

新春マラソン大会

県道多良岳公園線を舞台にした最長10kmのマラソン大会。小学校3年生以下から一般男子・女子まで10種目があり、町内外から多くの人参加します。



8月 海中鳥居周辺

INTERVIEW インタビュー



山口 渡さん
栄まちおこし会会長

地域を活性化
するため、
新しい祭りを始めました。

大魚神社のある栄町地区も、近年は過疎が進んでいます。何か活性化ができないかと思ひ、まず海中鳥居を地元の杉を使って建替えて赤く塗り直しました。多良岳に登って見ると、海中鳥居から沖の島まで一直線につながっており、太良町のパワースポットだと言えるでしょう。平成23年からはお盆で帰省する人たちにも楽しんでもらおうと「千乃灯籠まつり」を始めました。昔、太良町のいろんな地域で灯籠を飾って祭りをしていたのを、現代風にアレンジして復活させたのです。今ではすっかり夏の風物詩として定着し、他県はもちろん、海外からも訪れる人がいます。手伝ってくれる若い人たちも増えており、お祭りや海中鳥居の建て方を次の世代へとしっかり伝えていきたいですね。

多良海道を歩こう

佐賀のお殿様たちが、長崎の警備に向うために行き来したとされる多良岳のすそ野を縫うように続く道は、「多良海道」と呼ばれていました。当時の文化遺産が多く残る街道沿いは、現在散策道として整備されており、ウォーキングのイベントなども行われています。



多良海道は、長崎街道多良往還、多良道、諫早街道とも言われ、永昌宿（諫早市）から塩田宿（嬉野市）までの総距離約48kmのルートを示します。途中、湯江追分からは山間のルートと有明海沿いのルートの二手に分かれ、多良宿で合流します。有明海沿いのルートは「竹崎街道」と呼ばれます。ここでは、山間のルートを歩き、江戸時代の面影を感じてみましょう。

多良海道 山の道を行く

JR湯江駅近くの湯江追分から、多良海道は山間の険しい道を通ります。標高390mの多良海道最高点、山茶花峠からは有明海を隔てて雲仙岳を望むことができ、かつては何軒もの茶屋があったと言われます。そこから下って、佐賀天文協会太良観測所を過ぎた辺りに一里塚跡があります。一里塚は一里（約3927m）ごとに街道の両脇が片側に築かれていたもので、太良町内にもいくつかその痕跡があります。ここから糸岐地区の荒穂神社跡までは昔の道がそのまま残っており、江戸時代の面影を強く感じることができそうです。

荒穂神社は昭和46年に太良嶽神社と合祀したため、今は鳥居しか残っていませんが、昔は秋祭りに浮立が奉納され賑わっていたといわれています。この辺りから、田園を通る平坦な道となります。古賀地区はかつて古賀宿が設けられていたところ、酒蔵跡の辺りが大名や幕府の役人が休泊した上使屋のあったところです。江戸時代中期以降、周辺はたびたび多良川の氾濫による水害に見舞われたため、上使屋は大魚神社の南にあった庄屋跡に移されました。今、大きなソテツの木がある辺りです。

上使屋跡のそばには、寛永3年に起きた「諫早一揆」の集結場所となった円教寺があります。この地方を治めていた諫早家の領主が佐賀藩から蟄居を命ぜられた時、それに抗議して1万3千人もの領民が抗議したもので、領主のために領民が一揆を起こした例は、全国でも大変珍しいとされます。大魚神社は豊漁と領内の安全を祈願する神社で、現在の社殿は天和2年に再興されたもの。「千乃灯笼まつり」の舞台となる有明海に浮かぶ海中島居でも知られています。



一里塚跡



荒穂神社跡



古賀宿酒蔵跡



円教寺





夜燈鼻灯台跡 (町重要文化財)

竹崎沖は海の難所とされ、古くから先端に灯台が設置されていました。明治2年に建てられたものは、当時全国でも珍しい11面ガラス鏡式洋風灯台でした。昭和29年に役目を終えましたが、記念の石碑が置かれています。



中野家住宅 (国登録有形文化財)

明治42年建造で、大正期に増築した木造の主屋はじめ、門柱、石垣など計6件登録。接客や教育活動のために工夫された平面構成に近代的展開を示すことが評価されました。



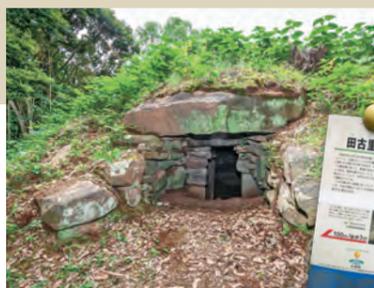
大魚神社と海中鳥居 (佐賀県遺産)

平成29年、22世紀に残す佐賀県遺産に登録。海の神ワダツミを祭神とする大魚神社の前に広がる有明海には、3基の木の鳥居が海中に建てられています。



土師壺棺 (町重要文化財)

子どもを埋葬するために作られた合わせ口壺棺で、4世紀のものとされます。中国地方に多い形の土器ですが、埋葬用に大きく作られたものは珍しく、破損も少ない貴重な出土品です。



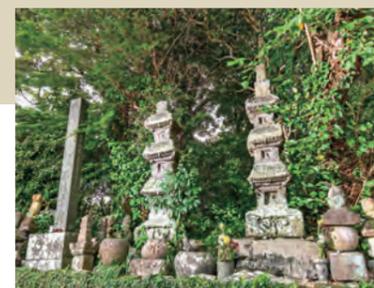
田古里古墳 (町重要文化財)

6世紀後半に作られた横穴式石室の円墳。石室の全長は10.87m、幅2.97m、高さ4.2mで、自然石の巨大な腰石の上に大きな塊石を積み上げて作られており、当時の豪族の墓とされます。



円満寺鐘楼

弘化4年、当時庶民から尊敬を集めていた白牛和尚によって建てられたとされる扇垂木造りの鐘楼。石垣は熊本城と同じ清正流の手法で積み上げられています。



竹崎観音石造三重塔 (佐賀県重要文化財)

鎌倉時代中期の作とされる蓮華文様と孔雀文様の2基の三重塔。その緻密で美しい造形から、わが国の石造美術の頂点を示すものの一つとされています。



役の行者座像 (町重要文化財)

太良嶽神社上宮に向かう参道の入り口にある鳥居の側にある修験道の開祖の石像。腰痛や関節炎、神経痛に功德があるとされ、一本歯の下駄を供えて平癒祈願をします。



竹崎観世音寺

和銅2年に行基によって創建されたという真言宗の古刹。境内には貴重な文化遺産が数多くあり、伝統的な行事を今に伝えています。



太良町歴史民俗資料館

土師壺棺をはじめ、タイラギ漁に使われた潜水具など、太良町の貴重な歴史・民俗資料や生活資料を展示した資料館。
太良町大字多良1番地11 0954-67-2139



六体地藏菩薩立像 (町重要文化財)

太良嶽神社上宮に向かう参道の入り口にある鳥居から一宮に行く途中の岩壁の下に並ぶ六体の地藏尊。肥前石造文化が開花した江戸時代中期の作とされます。

町内小中学校の児童・生徒・教員数

令和元年5月1日現在

学校名	学級数 (学級)	児童・生徒数 (人)			1学級当たり (人)	教員数 (人)
		男	女	計		
多良小学校	9	125	107	232	25.8	21
大浦小学校	6	72	72	144	24.0	16
小学校 計	15	197	179	376	24.9	37
多良中学校	6	68	73	141	23.5	18
大浦中学校	4	46	57	103	25.8	11
中学校 計	10	114	130	244	24.6	29

資料：「学校基本調査」(文部科学省)の資料をもとに作成

文化財

名称	種別	指定年月日	所在地
竹崎観世音寺修正会鬼祭	国指定重要無形民俗文化財	昭和60年1月12日	大字大浦 竹崎
中野家住宅	国登録有形文化財	平成29年5月2日	大字伊福
石造三重塔	県指定重要文化財	昭和36年3月24日	大字大浦 竹崎観世音寺
竹崎観世音寺修正会鬼祭童子舞	県指定重要無形民俗文化財	昭和43年4月2日	大字大浦 竹崎
川原狂言	県指定重要無形民俗文化財	昭和46年3月28日	大字多良 川原
道越古墳	町指定重要文化財	昭和50年2月4日	大字大浦 道越
田古里古墳	町指定重要文化財	昭和50年2月4日	大字大浦 田古里
竹崎城跡	町指定重要文化財	昭和50年2月4日	大字大浦 竹崎
夜燈鼻灯台跡	町指定重要文化財	昭和50年2月4日	大字大浦 竹崎
役行者座像	町指定重要文化財	昭和51年2月10日	多良岳上宮参道傍
六体地藏菩薩立像	町指定重要文化財	昭和51年2月10日	多良岳上宮南麓
土師壺棺	町指定重要文化財	昭和51年2月10日	太良町歴史民俗資料館
石造六地藏	町指定重要文化財	昭和52年3月1日	大字大浦 竹崎
湯牟田古墳	町指定重要文化財	昭和63年4月1日	大字伊福

資料：教育委員会

位置 (役場)

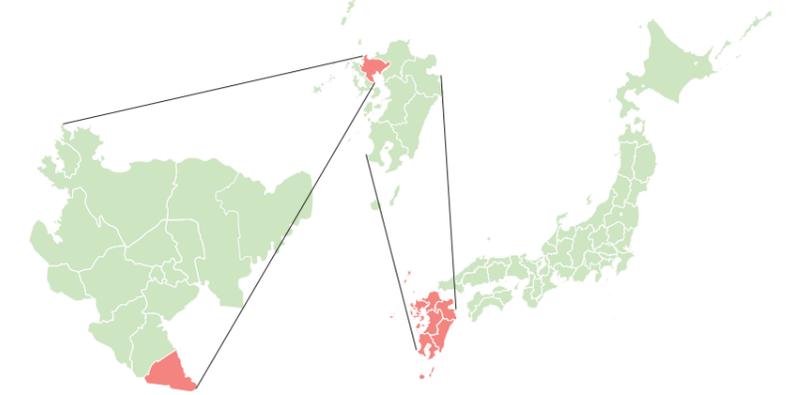
区分	位置
東経	130° 10'45"
北緯	33° 1'10"

出典：国土地理院ウェブサイト GIS国土の情報

面積

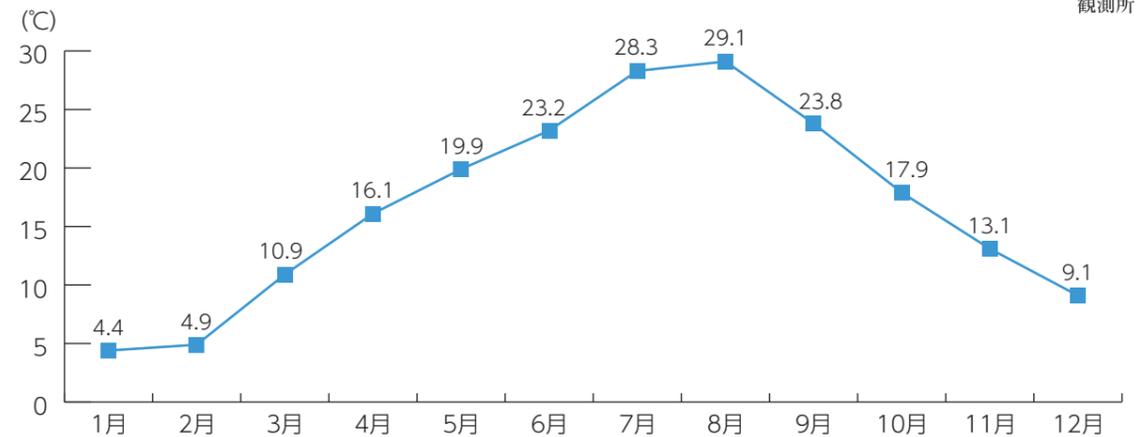
年月日	面積 (km ²)
平成12年10月1日	74.17
平成14年10月1日	74.20
平成17年10月1日	74.21
平成26年10月1日	74.30
令和元年7月1日現在	74.30

出典：国土地理院ウェブサイト



平均気温 (平成30年)

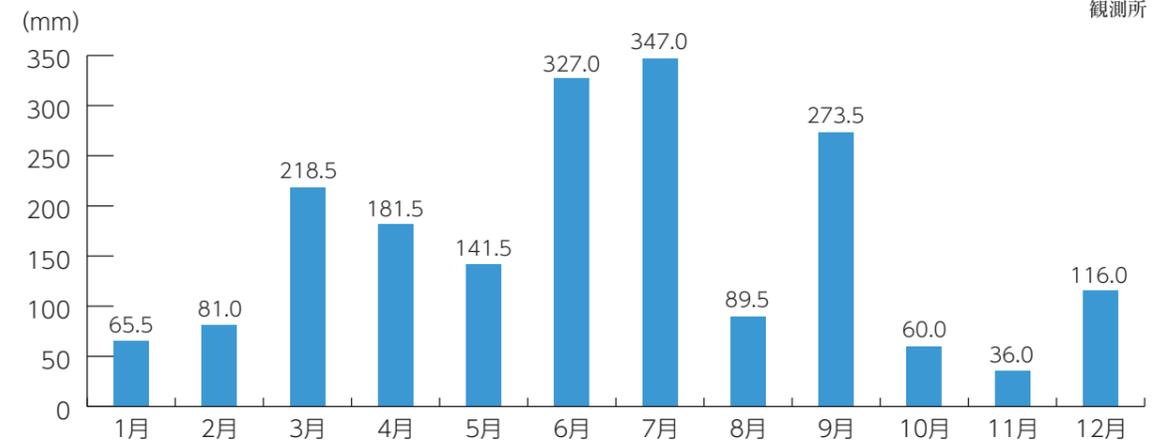
観測所：役場



資料：太良町コミュニティウェザーステーション

降水量 (平成30年)

観測所：役場



資料：太良町コミュニティウェザーステーション

- 昭和30年2月 多良町と大浦村の合併により太良町となる
- 昭和30年2月 太良町長職務執行者に前多良町長恵崎芳六氏就任
- 昭和30年2月 新町建設計画決定
- 昭和30年2月 大字の新設(大浦地区全域を大字大浦と設定)
- 昭和30年3月 七浦村の一部大字飯田甲地区を編入合併(大字伊福と設定)
- 昭和30年3月 太良町長職務執行者に赤木又蔵氏就任(恵崎芳六氏退職)
- 昭和30年3月 太良町初代町長選挙(豊島亀之助氏当選)
- 昭和30年5月 太良町議会議員の定数改正により20人と決定
- 昭和30年6月 太良町監査委員制設置
- 昭和30年7月 太良町議会議員選挙(合併後第1回)
- 昭和30年9月 多良小学校校歌、校章制定
- 昭和30年10月 太良町果実農業協同組合みかん選果場完成
- 昭和30年12月 太良町長選挙(恵崎芳六氏当選)
- 昭和31年3月 多良小学校モルタル2階建校舎完成
- 昭和31年3月 太良町火葬場完成(小鋤)
- 昭和31年9月 町立多良病院を太良町国民健康保険直営病院とする
- 昭和32年6月 太良町農業委員会発足(多良・大浦地区農業委員会合併)
- 昭和32年11月 有線放送電話業務開始
- 昭和33年3月 太良町立多良公民館完成
- 昭和33年3月 多良中学校木造2階建校舎完成
- 昭和33年8月 多良商工会、大浦商工会合併(太良町商工会発足)
- 昭和33年9月 牛乳給食開始(町内小・中学校)
- 昭和33年10月 多良中学校木造2階建第2棟校舎完成
- 昭和33年11月 多良中学校学校植林優秀校として九州地区緑化推進委員会から表彰
- 昭和41年4月 県立高校誘致に関する要望書決議
- 昭和41年9月 果実農業協同組合選果場完成
- 昭和41年11月 町立多良児童館(瀬戸)設立
- 昭和42年2月 学校給食共同調理場完成(完全給食開始)
- 昭和42年11月 有線放送電話事業許可延長
- 昭和43年3月 町営テニスコート完成(3面)
- 昭和43年3月 町立大浦児童館(道越)設立
- 昭和43年4月 各分校給食開始(中山、三里、中尾)
- 昭和43年5月 町立農村図書館完成
- 昭和43年9月 県営かんがい排水施設事業(大浦地区)着手
- 昭和43年9月 大浦中学校鉄筋コンクリート3階建校舎完成
- 昭和43年10月 太良水産製氷冷蔵施設完成(製氷工場)
- 昭和44年3月 大浦地区みかん共同防除施設完成
- 昭和44年4月 町立伊福児童館設立
- 昭和44年4月 国土調査事業着手(昭和59年3月31日事業完了)
- 昭和44年4月 多良中学校鉄筋コンクリート3階建校舎完成
- 昭和44年4月 農業振興地域指定
- 昭和44年12月 沿岸漁業構造改善資金利子補給制度開始
- 昭和44年12月 沿岸漁業構造改善対策事業費補助金交付制度開始
- 昭和44年12月 のり人工種苗場完成
- 昭和45年2月 太良町みかん生産1万トン達成
- 昭和45年3月 大浦小学校鉄筋コンクリート3階建校舎完成
- 昭和45年3月 太良町老人福祉センター(寿会館)完成(収容人員150人)
- 昭和45年4月 広域基幹林道多良岳横断線建設着手(県営、昭和54年完成)
- 昭和45年5月 町立子供遊園(油津)完成
- 昭和45年8月 多良漁港油津地区海中道路完成
- 昭和45年9月 沿岸埋立地造成完了(多良地区)

太良町のあゆみ 合併から65年



①昭和43年5月：町立農村図書館完成／②昭和45年3月：太良町老人福祉センター(寿会館)完成／③昭和47年7月：「役場だより」創刊号発行／④昭和48年10月：町立多良病院全面改築移転工事完成／⑤昭和49年10月：町営野球場完成／⑥昭和50年4月：波瀬ノ浦大橋開通式



①昭和33年3月：太良町立多良公民館完成／②昭和33年12月：役場移転(油津へ)、業務開始(庁舎完成11月1日)／③昭和38年3月：大浦小学校災害復興計画により鉄筋コンクリート3階建校舎完成



- 昭和33年12月 役場移転(油津へ)、業務開始(庁舎完成11月1日)
- 昭和34年4月 太良町敬老年金支給開始(80歳以上)
- 昭和34年12月 太良町長選挙(西村壽雄氏当選)
- 昭和35年3月 多良小学校木造2階建校舎完成
- 昭和35年8月 太良町事務改善委員会発足
- 昭和35年11月 太良町町章制定
- 昭和36年2月 太良町産業センター完成
- 昭和37年1月 太良町母子センター完成
- 昭和37年5月 大浦中学校体育館完成
- 昭和37年7月 集中豪雨による災害発生(死者44人、家屋の倒壊100戸余り)
- 昭和37年7月 大浦小学校校舎倒壊(権現山の崩壊による)
- 昭和37年9月 中尾分校校舎新築完成
- 昭和38年3月 大浦小学校災害復興計画により鉄筋コンクリート3階建校舎完成
- 昭和38年3月 有線放送電話災害復旧事業全面改修工事完了
- 昭和39年3月 多良小学校(本校)粉乳給食開始
- 昭和39年4月 国営パイロット事業着手
- 昭和39年4月 第1次農業構造改善事業着手
- 昭和39年7月 太良町社会体育館完成
- 昭和39年9月 第1次農業構造改善事業第1みかん選果場(油津)完成
- 昭和40年3月 町道舗装開始
- 昭和40年4月 多良・大浦農業協同組合合併(太良町農業協同組合発足)
- 昭和40年8月 大浦地区土地改良区設立
- 昭和40年8月 大浦地区パイロット事業着手
- 昭和40年10月 復興祭(昭和37年7月8日災害)
- 昭和41年3月 多良小学校伊福分校廃止
- 昭和41年3月 多良小学校鉄筋コンクリート3階建校舎完成
- 昭和46年3月 町営ごみ処理場完成
- 昭和46年3月 太良嶽神社建立(三社合併)
- 昭和46年4月 多良地区簡易水道事業拡張と上水道へ切替
- 昭和46年10月 みかん共同防除施設着手(大浦ダム)
- 昭和47年7月 杵藤地区広域市町村圏組合加入
- 昭和47年7月 「役場だより」創刊号発行
- 昭和47年11月 有線放送電話事業許可再延長
- 昭和48年3月 風配地区に製茶工場完成(農協茶生産部会)
- 昭和48年3月 糸岐漁港局部改良事業完了(海中道路)
- 昭和48年4月 赤ちゃん誕生証書贈呈開始
- 昭和48年4月 多良小学校鉄筋コンクリート3階建校舎完成
- 昭和48年7月 太良町観光協会発足
- 昭和48年10月 町立多良病院全面改築移転工事完成(46床)
- 昭和48年11月 多良小学校、創立百周年記念(知新小学校記念碑建立)
- 昭和49年3月 広域基幹林道多良岳横断線、多良岳大橋完成(63m)
- 昭和49年3月 太良町全域を自然休養村に指定
- 昭和49年4月 鹿島・藤津地区衛生施設組合へ加入
- 昭和49年5月 県営高野ため池整備事業着手(昭和53年完了)
- 昭和49年6月 町立伝染病隔離病舎全面改築移転工事完成(15床)
- 昭和49年7月 多良漁港局部改良事業着手(采町地区海中道路)
- 昭和49年10月 町営野球場完成
- 昭和49年11月 大浦小学校創立百周年記念
- 昭和49年12月 杵藤地区広域消防太良分署設置
- 昭和49年12月 青色申告と自主納税宣言
- 昭和50年4月 波瀬ノ浦大橋開通式
- 昭和50年8月 ボーイスカウト結成式

昭和50年10月	大規模果樹生産流通基地整備事業第3みかん選果場（広江）完成
昭和51年3月	国道207号今里橋開通式
昭和51年4月	太良町土地開発公社設立
昭和51年4月	太良町母子健康センター（油津）完成
昭和51年4月	北多良運動場完成
昭和51年6月	多良中学校鉄筋コンクリート4階建校舎完成
昭和51年7月	国鉄長崎本線電化開通（急行多良駅停車）
昭和51年8月	集中豪雨災害
昭和51年10月	第31回国民体育大会開会（高校軟式野球・山岳競技）
昭和52年3月	道越漁港早泊荷揚場及び埋立地完成
昭和52年3月	大浦漁港（道越）水産物荷さばき施設完成
昭和52年4月	県立太良高等学校開校
昭和52年4月	町立油津児童館設立
昭和52年5月	大規模果樹生産流通基地整備事業第4みかん選果場（油津）完成
昭和52年7月	共済組合新築工事完成
昭和52年9月	町営テニスコート落成（全天候型4面）
昭和52年11月	高齢者等肉牛飼育事業着手
昭和53年3月	有線放送電話廃止
昭和53年3月	大浦中学校鉄筋コンクリート3階建校舎完成
昭和53年3月	大浦漁協、漁船漁具保全施設完成
昭和53年6月	祐徳バス、長崎県営バス相互乗り入れ開始
昭和53年11月	自然休養村畜養殖漁施設（大川内）完成
昭和53年11月	B&G財団太良海洋センター開所式（体育館、艇庫）
昭和53年12月	大浦ダム貯水式
昭和54年2月	町営屋内温水プール完成
昭和54年3月	太良町自然休養村管理センター完成
昭和54年3月	太良町中央公民館完成
昭和58年6月	林業総合センター落成式
昭和58年8月	多良小学校三里分校新校舎完成
昭和59年1月	太良町企業誘致等促進協議会発足
昭和59年1月	太良町行財政調査委員会発足
昭和59年1月	道路台帳整備事業完成
昭和59年3月	海洋センター施設をB&G財団より太良町が無償譲受
昭和59年3月	太良町みどりの家完成（三里）
昭和59年4月	生活環境保全林整備事業健康の森公園着手（当木地区昭和63年3月完了）
昭和59年9月	社会福祉法人西部センター開設
昭和59年4月	町道早垣線早垣ガード完成（昭和58年3月4日工事着工）
昭和60年1月	「竹崎観世音寺修正会鬼祭」国の重要無形民俗文化財に指定
昭和60年2月	太良町新生活運動推進協議会設立総会
昭和60年3月	ごみ分別収集開始
昭和60年3月	太良町野外音楽堂完成
昭和60年3月	町営住宅油津団地（12戸）完成
昭和60年3月	勤労者体育館完成
昭和60年10月	かんきつ産地再編整備特別対策事業完了（キウイフルーツ等流通施設、畑田）
昭和60年11月	大橋リュフ博士（東京在住）町に一億円寄附
昭和60年11月	新町建設30周年記念式典 町花（みかんの花）、町木（ヒノキ）、町鳥（うぐいす）を制定
昭和61年1月	喰場みどりの少年団結団式
昭和61年3月	海浜古墳公園（広江地区）完成
昭和61年3月	鹿島藤津地区衛生施設組合第2処理場（当木地区）完成
昭和61年4月	間伐林道座木線開通式（比丘尼橋完成）



1 昭和61年5月：大橋記念図書館落成式 / 2 昭和62年11月：役場移転（現在地）、業務開始（庁舎完成10月31日） / 3 平成元年3月：太良町森林活性化センター（栄町）完成



1 昭和52年9月：町営テニスコート落成 / 2 昭和54年2月：町営屋内温水プール完成 / 3 昭和54年4月：特別養護老人ホーム（油津）開設 / 4 昭和56年3月：多良小学校中山分校廃校 / 5 昭和57年3月：太良町歴史民俗資料館完成 / 6 昭和58年3月：町営住宅栄町団地2号棟（6戸）、畑田団地1号棟（12戸）完成



昭和61年5月	第1回多良岳サミット開催（於金泉寺）
昭和61年5月	大橋記念図書館落成式
昭和61年6月	町営住宅亀ノ浦団地1号棟（12戸）完成
昭和61年8月	山村林業構造改善事業林道中山・山根線着手（昭和63年3月30日完了）
昭和61年8月	間伐林道開設事業御手水線着手（昭和62年12月25日完了）
昭和61年10月	第1回たらふるさと祭り開催
昭和62年1月	第38回全国植樹祭記念苗木、全世帯配布（ウメ）
昭和62年1月	第1回太良町社会福祉大会開催
昭和62年3月	太良高校同窓会館完成
昭和62年6月	町営住宅亀ノ浦団地2号棟（6戸）完成
昭和62年9月	「太良町国土利用計画」を議決（昭和70年目標）
昭和62年11月	役場移転（現在地）、業務開始（庁舎完成10月31日）
昭和62年12月	杉崎順之輔氏町長就任
昭和62年12月	太良町コミュニティウエザーステーション開設（総合観測所）
昭和63年2月	野菜集出荷貯蔵施設（北町）完成
昭和63年4月	かんきつ園地再編対策事業開始
昭和63年7月	太良町農業後継者の結婚相談所開設（農業委員会）
昭和63年8月	太良町保健推進員を設置
昭和63年11月	第3回たらふるさと祭り（文化祭、十夜市）同時開催
平成元年1月	電算システム運用開始
平成元年3月	太良町森林活性化センター（栄町）完成
平成元年4月	水道使用料の隔月検針（料金の隔月徴収）開始
平成元年4月	町立多良病院を町立太良病院に名称変更

昭和54年4月	太良町保健センター（大浦）開設
昭和54年4月	特別養護老人ホーム（油津）開設
昭和54年4月	佐賀地方事務局多良出張所閉所式
昭和54年7月	入会林野等整備促進事業着手
昭和54年8月	健康広場（ゲートボール場）完成
昭和54年8月	第1回太良町健康づくり大会開催
昭和55年2月	B&G海洋センター第2体育館完成
昭和55年3月	社会福祉法人太良町社会福祉協議会発足
昭和55年4月	広域基幹林道多良岳横断林道開通式
昭和55年7月	中尾みどりの少年団結団式
昭和55年8月	「議会だより」創刊号発行
昭和55年8月	集中豪雨災害
昭和55年12月	NHK1日放送局
昭和56年1月	太良町青少年育成町民会議設立総会
昭和56年3月	多良小学校中山分校廃校
昭和56年4月	いふく保育園開設
昭和56年4月	B&G海洋センター運動場及び夜間照明施設完成
昭和56年4月	多良小・中体育館完成
昭和56年5月	太良町上水道増補及び改良工事完成・通水式（郷式）
昭和56年5月	肉用牛哺育センター（風配）完成
昭和56年6月	大浦公民館完成
昭和56年10月	健康広場運動場（庁舎南側）整備事業完了
昭和57年3月	太良町歴史民俗資料館完成
昭和57年3月	大浦小学校体育館完成
昭和57年4月	町営住宅栄町団地1号棟（6戸）完成
昭和57年9月	防災行政無線開局
昭和57年9月	太良町総合開発計画策定
昭和58年3月	町営住宅栄町団地2号棟（6戸）、畑田団地1号棟（12戸）完成

- 平成元年 4月 昭和天皇お手まきのクスノキ苗、庁舎前と健康の森公園へ植栽
- 平成元年 4月 乳がん検診開始（老人保健事業）
- 平成元年 8月 外国青年英語指導助手招致事業開始（米国人リチャードベッカーさん招へい）
- 平成元年 8月 大腸検診開始（町単独事業）
- 平成元年 10月 第1回やまびこ市開催（森林活性化センター）
- 平成元年 11月 太良観光航路開設（野崎漁港と三池港との間）
- 平成2年 2月 有明海観光遊覧船「ふれんどしつぷ号」
- 平成2年 2月 有明海大浦漁協栽培漁業センター完成
- 平成2年 3月 ふるさと創生（1億円）事業多良岳自然林の購入基金に決定
- 平成2年 3月 町営住宅畑田団地2号棟（12戸）完成
- 平成2年 3月 太良町民謡調べ発行
- 平成2年 4月 役場の土曜閉庁（第2・4土曜日）スタート
- 平成2年 4月 太良町商工会館（栄町）完成
- 平成2年 4月 町誌の編さん作業に着手（平成7年3月全3巻発行）
- 平成2年 5月 太良町農業共済組合、鹿島・藤津農業共済組合と合併
- 平成2年 8月 外国青年英語指導助手招致事業（英国人カレン・リアダンさん招へい）
- 平成2年 9月 多良岳地区基幹農道太良町建設促進協議会設立
- 平成3年 4月 まちづくりシンポジウム in TARA'91開催
- 平成3年 6月 福祉バス「ふれあい号」運行開始
- 平成3年 9月 台風17号による大災害（塩害等）
- 平成3年 9月 台風19号による大災害（塩害等）
- 平成3年 10月 第1回太良町福祉運動会開催
- 平成3年 12月 大浦漁協水産物さばき施設（活魚センター）完成

- 平成5年 8月 「町報たら」掲載写真「蕪田の泥もちつき」
- 平成4年度全国広報コンクール8席入選
- 平成6年 2月 水道管理図作成業務完了（町内全14施設）
- 平成6年 3月 太良町老人保健福祉計画策定
- 平成6年 3月 町営住宅畑田団地3号棟（12戸）完成
- 平成6年 3月 太良町水道事業老朽管更新事業完了（石綿管の全廃）
- 平成6年 3月 町誌下巻発行
- 平成6年 3月 県営健康とゆとりの森整備事業完了
- 平成6年 3月 林道当木線開設事業完了（平成2〜5年度）
- 平成6年 4月 電算システム（財務会計）運用開始
- 平成6年 7月 太良町ボランティアセンター事業開始（太良町社会福祉協議会）
- 平成6年 7月 海岸環境整備事業（白浜地区人工海水浴場第1ステージ）完了
- 平成6年 8月 第22回県消防操法大会消防ポンプ自動車の部で太良町消防団第3分団優勝
- 平成6年 8月 異常渇水による山間部水道への飲料水補給実施（蕪田、喰場、山根、大川内、大野地区）
- 平成7年 4月 21日終了
- 平成6年 10月 禁煙対策事業（成人）開始
- 平成6年 10月 第1回フェスタ開催（社会福祉協議会）
- 平成6年 10月 町誌中巻発行
- 平成6年 11月 第1回町内学童駅伝大会開催
- 平成6年 11月 禁煙教室開始
- 平成6年 12月 竹崎地区鹿山周辺整備事業着工
- 平成6年 12月 竹崎城址展望台周辺整備事業完了（駐車場3カ所、屋外便所2カ所）
- 平成7年 3月 竹崎城址展望台草スキー場完成
- 平成7年 3月 町誌上巻発行



①平成元年 10月：第1回やまびこ市開催／②平成4年 7月：大浦港浮桟橋完成／③平成4年 8月：第1回太良町納涼夏まつり開催



①平成6年 7月：海岸環境整備事業（白浜地区人工海水浴場第1ステージ）完了／②平成7年 3月：太良町の歌制定 イメージソング「ふるさとの匂い」音頭「きんしゃい、踊んしゃい」／③平成7年 6月：太良町合併 40周年記念式典／④平成7年 8月：外国青年英語指導助手招致事業（米国人レミー・ヤマグチさん招へい）

- 平成4年 3月 太良町新総合開発計画策定（目標年次平成13年・西暦2001年）
- 平成4年 4月 太良町福祉センター事業開始
- 平成4年 4月 太良町家庭用合併処理浄化槽設置整備事業開始
- 平成4年 5月 穀類等乾燥調整施設（ライスセンター）併設完成
- 平成4年 6月 太良町高齢者住宅設備費利子補助開始
- 平成4年 7月 太良町老人日常生活用具給付事業開始
- 平成4年 7月 大浦港浮桟橋完成
- 平成4年 8月 J R長崎本線存続期成会設立総会（会員鹿島市・太良町・嬉野町・塩田町・有明町・白石町・福富町・江北町）
- 平成4年 8月 第1回太良町納涼夏まつり開催
- 平成4年 9月 多良・大浦中学校パソコンコンピュータ教育システム導入（44台設置）
- 平成4年 10月 竹崎城址展望台落成
- 平成4年 10月 広域基幹林道多良岳断線全線舗装完了（鹿島市1万6710m、嬉野町7917m、太良町1万5785m、計4万412m、総事業費8億391万円）
- 平成4年 11月 第1回大浦地区土地改良区総代選挙（当選人35名）
- 平成5年 3月 災害緊急時用発電機2基設置（川原、亀ノ浦水源）
- 平成5年 4月 太良町三里みどりの少年団結成（三里分校区小中学生）団員21名
- 平成5年 8月 外国青年英語指導助手招致事業（米国人ドット・メリンダさん招へい）
- 平成5年 8月 太良町むらおこし基金制度制定
- 平成5年 8月 台風7号による災害（9日から10日まで）

- 平成7年 3月 太良町の歌制定 イメージソング「ふるさとの匂い」音頭「きんしゃい、踊んしゃい」
- 平成7年 3月 小型動力ポンプ積載車等各部に配置完了
- 平成7年 3月 台風災害森林復旧事業終了 台風17号（平成3年9月14日）、台風19号（平成3年9月27日）における森林被害額10億8000万円、復旧面積755ha、事業費2億7754万3千円
- 平成7年 4月 禁煙対策事業（児童）開始
- 平成7年 6月 太良町合併40周年記念式典
- 平成7年 7月 中山キャンプ場バンガロー新築
- 平成7年 7月 有明海観光遊覧船ふれんどしつぷ号休航
- 平成7年 8月 外国青年英語指導助手招致事業（米国人レミー・ヤマグチさん招へい）
- 平成7年 8月 多良岳自然林120haを林野庁主催の水源地の森百選に「多良岳水源の森」（林野庁）として認定
- 平成7年 8月 温泉源噴出確認（たら竹崎温泉）
- 平成7年 9月 健康広場屋根付ゲートボール場完成（2面）
- 平成7年 9月 肺がん検診開始
- 平成7年 9月 渇水による山間部水道への水補給再開（山根、大川内地区平成8年3月31日終了）
- 平成7年 12月 百武豊氏町長就任
- 平成8年 2月 廃棄物再生利用推進事業開始（食廃油による石鹼製造）
- 平成8年 4月 骨粗しょう症検診開始
- 平成8年 9月 道越漁港 3号物揚場完成
- 平成8年 10月 在宅介護支援センター（光風会）開設
- 平成8年 12月 母子保健推進員設置
- 平成9年 3月 太良町ホームページ開設
- 平成9年 3月 大浦漁協漁場監視船導入（地域漁業活性化構造改善事業）

ひかり

- 平成9年4月 国民健康保険人間ドック検診事業実施
- 平成9年4月 子育て支援事業「ひよこクラブ」開始
- 平成9年4月 2歳児歯科検診事業開始(町単独事業)
- 平成9年6月 固定資産システム評価業務開始
- 平成9年8月 第1回竹崎カニと温泉祭り開催
- 平成9年9月 たら漁業協同組合発足(多良本部漁協・太良中央漁協合併)
- 平成9年9月 竹崎城址展望台管理棟完成
- 平成9年11月 太幸早生みかん栽培開始
- 平成10年3月 中山キャンプ場バンガロー2棟(多良岳・まんさく)新築
- 平成10年3月 赤松橋公園駐車場完成
- 平成10年3月 道越環境広場完成(ソフトボール場4面、ゲートボール場4面、遊園地)
- 平成10年4月 町単補助事業太良町田なおし事業着手
- 平成10年4月 平成9年産かんきつ価格暴落による経営資金発動
- 平成10年4月 第1回家族経営協定調印式
- 平成10年7月 老人保健施設ふるさとの森(大峰)開所
- 平成10年9月 太良町シルバー人材センター事業開始(太良町社会福祉協議会)
- 平成10年10月 ふれあいのまちづくり事業開始(太良町社会福祉協議会)
- 平成10年10月 第1回ふくしふれあいまつり大会開催
- 平成11年3月 野崎住宅分譲地造成工事完了
- 平成11年3月 ふるさと林道緊急整備事業山茶花線開通
- 平成11年4月 フッ素洗口推進事業開始(保育園等)
- 平成11年6月 梅雨前線豪雨災害(農地等災害)170カ所査定額1億8202万1千円
- 平成11年9月 太良水産冷凍冷蔵施設完成(地域漁業活性化構造改善事業)



1平成11年11月：野崎住宅宅地分譲開始/2平成11年12月：太良町総合福祉保健センター「しおさい館」開所



ひかり

- 平成15年1月 太良町露地野菜振興対策事業創設
- 平成15年2月 太良町営ごみ焼却炉廃止
- 平成15年3月 太良町水道施設集中監視システム工事完了
- 平成15年3月 大浦小学校駐車場整備工事完了
- 平成15年3月 大浦中学校技術教室、武道場改築・屋外便所改築工事完了
- 平成15年3月 太良町施設園芸給水対策事業創設
- 平成15年3月 海と山の絆の森記念植樹 健康の森公園1・5haに広葉樹植栽
- 平成15年3月 町単補助事業太良町田なおし事業終了
- 平成15年4月 国民健康保険被保険者証のカード化実施
- 平成15年4月 新電算システム運用開始
- 平成15年5月 鹿島警察署太良交番移転(北町)
- 平成15年8月 太良町果実農業協同組合光センサー選果施設完成
- 平成16年3月 杵藤地区広域消防太良分署移転(北町)
- 平成16年3月 太良町リサイクルセンター完成
- 平成16年3月 防災行政無線フルデジタル更新
- 平成16年3月 太良町かき試験養殖事業(平成13~15年度)筏8基
- 平成16年4月 太幸早生増産対策事業創設
- 平成16年4月 太良町和牛振興会発足
- 平成16年6月 鹿島市との合併の是非を問う住民投票実施
- 平成16年8月 台風15・16・17・18号襲来 畜舎、水稲、かんきつに被害
- 平成17年3月 特定優良賃貸住宅供給促進事業瀬戸団地新築工事完了
- 平成17年3月 ノリ共同加工施設完成(漁業経営構造改善事業)
- 平成17年3月 母子健康センター廃止
- 平成17年5月 太良町特産品販売所「たらふく館」オープン



1平成15年5月：鹿島警察署太良交番移転(北町)/2平成16年3月：杵藤地区広域消防太良分署移転(北町)/3平成17年3月：特定優良賃貸住宅供給促進事業瀬戸団地新築工事完了/4平成18年4月：新町立太良病院開設

ひかり

- 平成11年11月 野崎住宅宅地分譲開始
- 平成11年12月 太良町総合福祉保健センター「しおさい館」開所
- 平成12年1月 在宅介護センター(ふるさとの森)開設
- 平成12年3月 多良漁港海岸保全事業完了
- 平成12年4月 介護保険制度開始
- 平成12年4月 生きがい対応型サービス事業開始
- 平成12年4月 歯科相談事業開始(1歳児他、成人等)
- 平成12年4月 平成11年産かんきつ価格暴落による経営資金発動
- 平成12年10月 太良町農業協同組合光センサー選果施設完成
- 平成13年2月 太良町中山間地域直接支払制度開始
- 平成13年3月 竹崎漁業集落排水事業供用開始
- 平成13年4月 電算システム機種変更着手
- 平成13年4月 放課後児童健全育成事業開始
- 平成13年4月 外出支援サービス事業開始
- 平成13年4月 保育所一時保育促進基盤整備事業開始
- 平成13年4月 前立腺がん検診開始
- 平成13年4月 県営中山間地域総合整備事業着手
- 平成13年6月 太良町農林漁業振興資金融資制度発足
- 平成13年8月 竹崎漁港漁業集落環境整備事業完了
- 平成13年11月 インフルエンザ予防接種(高齢者)開始
- 平成13年11月 大浦小学校校門の新設、校訓碑の設置
- 平成14年3月 第3次太良町総合計画策定(目標年次平成23年・西暦2011年)
- 平成14年3月 中山キャンプ場管理棟完成
- 平成14年3月 町立太良病院新築整備計画基本構想策定
- 平成14年10月 県道竹崎・上田古里線バイパス開通式
- 平成14年10月 多良岳の周辺地域123haを佐賀県自然環境保全地域に指定
- 平成15年1月 ケーブルテレビ開局

ひかり

- 平成17年10月 小学校アシスタントティーチャー配置事業開始
- 平成17年10月 地域子ども教室推進事業開始
- 平成18年1月 学校安全ボランティアによる子ども見守り隊発足
- 平成18年1月 太良町土地開発公社解散
- 平成18年2月 長崎新幹線建設に伴う長崎本線のJR九州からの経営分離に同意
- 平成18年3月 資源物リサイクル棟新築工事完了
- 平成18年4月 新町立太良病院開設(鉄筋コンクリート2階建60床)
- 平成18年4月 JR長崎本線沿線特別助成事業(太良町地域振興策)開始
- 平成18年4月 地域包括支援センター設置
- 平成18年4月 中学校アシスタントティーチャー配置事業開始
- 平成18年8月 町立太良病院居宅介護支援事業所開所
- 平成18年8月 町立太良病院通所リハビリテーション開所
- 平成19年2月 岩島正昭氏町長就任
- 平成19年3月 「道の駅太良」登録
- 平成19年3月 助役の廃止
- 平成19年4月 副町長の設置
- 平成19年4月 乳幼児医療費助成を就学前までに引き上げ
- 平成19年7月 佐賀県西部広域環境組合設立(4市5町)
- 平成19年7月 県からの権限移譲により町でパスポート申請受付・交付業務開始
- 平成19年7月 全国高校総体男子ソフトボール競技が鹿島市・太良町で開催(28日から8月1日まで)
- 平成19年8月 中尾みどりの少年団「第18回緑の少年団全国大会」において「みどりの奨励賞」受賞

ひかり

- 平成19年10月 学校ネット(緊急メール配信システム)本格稼働
平成19年12月 窓口業務時間延長開始(毎週火曜日)
平成20年1月 電算システム機器更新
平成20年2月 第1回太良町美しい日本語暗誦大会開催
平成20年3月 大浦中学校屋内運動場完成
平成20年3月 老人保健医療制度廃止
平成20年3月 収入役の廃止
平成20年4月 会計管理者の設置
平成20年4月 後期高齢者医療制度開始
平成20年4月 太良町定住促進事業開始
平成20年7月 太良町ふるさと応援寄附金募集開始
平成20年11月 多良山系等レスキュー協議会総合救助訓練・レスキューポイント設置
平成21年3月 多良小・大浦小全学年でフッ化物流洗口事業開始
平成21年3月 太良町特産品等展示販売飲食施設「たらふく館」別館完成
平成21年3月 多良小学校中尾分校閉校、本校へ統合
平成21年4月 みかんブランド率向上推進事業開始
平成21年4月 特別支援教育支援員配置(多良・大浦小学校)
平成21年4月 新規作物導入支援施設「ワサビ栽培施設」、農林水産物処理加工施設「ワサビ加工施設」完成
平成21年7月 特別支援教育支援員配置(多良・大浦中学校)
平成21年8月 ICT支援員を各校1名配置
平成21年9月 肺炎球菌予防接種費用助成事業創設
平成21年9月 防災用資機材備蓄用倉庫設置
平成21年10月 インフルエンザ予防接種(中学生以下)費用助成事業創設
平成21年10月 総合気象観測装置更新

ひかり

- 平成24年2月 観光案内所完成
平成24年2月 太良町文化連盟40周年記念文化講演会
平成24年2月 TBSもてもてナインティナイン「太良の花嫁お見合い大作戦」開催(3日から4日まで)
平成24年3月 第4次太良町総合計画策定(目標年次平成31年・西暦2019年)
平成24年3月 県営広域営農団地農道整備事業多良岳地区全線完了により町へ譲与
平成24年4月 太良町空き家情報バンク制度開始
平成24年7月 昭和37年7・8災害慰霊祭
平成24年7月 大浦小管理・特別教室棟改築工事完了
平成25年1月 空き家等の適正管理に関する条例施行
平成25年3月 庁舎エレベーター完成
平成25年4月 太良町議会基本条例制定
平成25年4月 不妊治療費用助成事業開始(町単独事業)
平成25年4月 杵藤地区3市4町で佐賀県総合防災訓練実施
平成25年5月 平成25年全国広報コンクール組み写真部門で町報たらが総務大臣賞受賞
平成25年6月 町報たらが総務大臣賞受賞
平成25年7月 東京都秋葉原「ちゃばら」にアンテナショップ
平成25年7月 プゆたりの郷ブリスをオープン
平成25年7月 第32回佐賀県消防操法大会小型ポンプ操法の部で太良町消防団第3分団優勝
平成25年10月 太良町特産品等展示販売飲食施設「たらふく館」火災により全焼
平成26年1月 電算システムクラウド化
平成26年1月 多良中学校屋内運動場・武道場増改築工事完了
平成26年3月 卒業祝金支給開始(対象者:中学3年生)
平成26年3月 多良小学校三里分校閉校、本校へ統合
平成26年4月 大浦児童館廃止

ひかり



1平成21年12月:「道の駅太良」グランドオープン/2平成22年7月:多良駅「幸せの鐘」除幕式/3平成22年12月:岳の新太郎銅像建立/4平成23年2月:町営火葬場「安穩の里」完成

ひかり

- 平成26年6月 太良町特産品振興施設「しおまねき」新築工事完了
平成26年9月 太良町特産品等展示販売飲食施設「たらふく館」リニューアルオープン
平成26年10月 水痘(乳幼児)・肺炎球菌(成人)予防接種が定期接種になる
平成26年10月 「多良岳200年の森」誕生
平成26年11月 第24回全国消防操法大会小型ポンプ操法の部に佐賀県代表として太良町消防団第3分団出場
平成27年2月 駐日ニュージーランド大使太良町表敬訪問
平成27年2月 鹿島・藤津地区衛生施設組合第2処理場(当木地区)大規模改造工事完了
平成27年3月 太良町合併60周年記念式典
平成27年3月 学校給食費の無償化開始
平成27年4月 結婚祝金・誕生祝金開始
平成27年8月 太良町合併60周年記念「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」太良町開催
平成27年12月 太良町人口ビジョン策定
平成28年2月 太良町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
平成28年3月 第2次太良町健康増進計画及びび育推進計画策定
平成28年3月 第2次太良町過疎地域自立促進計画策定
平成28年4月 防煙(禁煙)教室再開
平成28年4月 第2子保育料無料化事業開始
平成28年7月 たら産うまかもん給食支援事業開始(年3回)
平成29年3月 太良町公共施設等総合管理計画策定
平成29年4月 新生児聴覚スクリーニング検査費用助成開始(町単独事業)
平成29年4月 妊婦歯科健康診査開始(町単独事業)

平成29年4月	胃がんリスク検診（ABC検診）・若者健診開始（20〜39歳を対象）（町単独事業）
平成29年5月	「中野家住宅」（伊福）国の登録有形文化財に指定
平成29年6月	多良中・大浦中全学年でフッ化物流出口事業開始
平成29年7月	農業委員の選出を公募から公募に（8人）、農地利用最適化推進委員を新設（11人）
平成29年9月	学校給食センター移転（現在地）、業務開始（センター完成5月18日）
平成29年10月	全国過疎問題シンポジウム2017 inさが「太良町分科会」開催
平成29年12月	「沖之神への参道 大魚神社と海中鳥居」22世紀に残す佐賀県遺産に認定
平成30年3月	県道多良岳公園線改良工事（国道く多良小）開通式
平成30年3月	株式会社タラボと産業振興に関する連携協定締結
平成30年3月	地域優良賃貸住宅「パレットたら」完成
平成30年3月	JR長崎本線沿線特別助成事業（太良町地域振興策）終了
平成30年4月	MR（麻しん・風しん）2期・2種混合の集団接種を廃止し、町内医療機関での個別接種へ変更
平成30年4月	山林特別会計を一般会計へ移行
平成30年4月	九州佐賀国際空港リムジンタクシー太良路線運行開始
平成30年7月	地域再生計画の内閣総理大臣認定により地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）開始
平成30年10月	母子手帳アプリ「たらっ子メモリー」導入



①平成29年5月：「中野家住宅」（伊福）国の登録有形文化財に指定／②平成29年9月：学校給食センター移転（現在地）、業務開始（センター完成5月18日）／③平成29年12月：「沖之神への参道 大魚神社と海中鳥居」22世紀に残す佐賀県遺産に認定／④平成30年3月：地域優良賃貸住宅「パレットたら」完成

平成30年12月	肥前さが幕末維新博覧会「太良町・諫早市の日」開催
平成31年1月	町内全域で光インターネットサービス提供開始（太良町光情報通信基盤整備事業完了）
平成31年2月	永淵孝幸氏町長就任
平成31年3月	太良町のちを守る自殺対策行動計画策定
平成31年3月	辺地対策事業 町道喰場中央線道路改良工事完了
平成31年3月	伊福地区簡易水道配水管改良工事完了
平成31年3月	海中鳥居公衆トイレ新築工事完了
平成31年4月	太良町敬老祝金支給事業開始

▶インタビューの様子は
こちらから動画でご覧になれます。

太良町町勢要覧 インタビュー